

令和3年度

一般曹候補生

試験問題

国語②

# 〔国 語〕

【No. 1】 次の文章の内容と合致するものとして、最も妥当なものはどれか。

この部分に掲載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

(加藤昌男『テレビの日本語』より)

- (1) 若者ことばは世代限定の仲間うちことばであり、日本語の“乱れ”とは無関係である。
- (2) 若者ことばの特徴であるあいまいな表現は、今の大人たちもよく使っている。
- (3) 若者ことばの問題点の一つは、世代間のギャップを生むところにある。
- (4) 若者ことばの特徴であるあいまいさは、仲間意識を強める効果がある。
- (5) 若者ことばのあいまいさは、日本人の美德に通じるものがあり、尊重すべきである。

【No. 2】 次の文章の内容と合致するものとして、最も妥当なものほどれか。

むかし、男ありけり。女をとかく言ふこと月日経にけり。石木にしあらねば、心苦しとや思ひけむ、やうやうあはれと思ひけり。そのころ、永無月の望ばかりなりければ、女、身にかさ<sup>※2</sup>一つ二ついできにけり。女言ひおこせたる、「今はなにの心もなし。身に、かさも一つ二ついでたり。時もいと暑し。すこし秋風吹き立ちなむ時、かならずあはむ」と言へりけり。秋待つころほひに、ここかしこより、その人のもとへいなむずなりとて、口舌いできにけり。さりければ、女の兄人、にはかに迎へに来たり。されば、この女、かへでの初紅葉をひろはせて、歌をよみて、書きつけておこせたり。

秋かけて言ひしながらもあらなくに

木の葉降りしくえにこそありけれ

と書き置きて、「かしこより人おこせば、これをやれ」とて、いぬ。さて、やがてのち、つひに今日まで知らず。よくてやあらむ、あしくてやあらむ。いにし所も知らず。かの男は、天の逆手を打ちてなむ、のろひをるなる。むくつけきこと。人ののろひごとは、負ふものにやあらむ、負はぬものにやあらむ。「今こそは見め」とぞ言ふなる。

※1 水無月の望=陰暦六月十五日ごろ ※2 かさ=おでき

(「伊勢物語」より)

- (1) 女は男にあれこれ言われた心労で身体におできができてしまい、噂を聞いて迎えに来た兄に連れられ、男の元を去った。
- (2) 女は男をいとしく想っていたが、秋を待っているうちにあちこちから求婚され、心変わりをしてしまった。
- (3) 女は秋になると男のもとへ行きたいと口うるさく言うようになり、詠んだ歌を兄に預けて、家を出て行った。
- (4) 女は秋になったらお逢いしましょうと言っていたが、行方知れずになってしまい、男はその女のことを呪っている。
- (5) 女は書き置きを残していたが、今日まで訪ねて来なかった男はそれを知らず、今やっとなんか歌を読んだ自分を呪っている。

【No. 3】 意味が反対である熟語の組合せとして、正しいものはどれか。

- (1) 自発 —— 強制
- (2) 受理 —— 拒否
- (3) 親密 —— 遠心
- (4) 儉約 —— 消費
- (5) 強硬 —— 詳細

【No. 4】 次の意味を持つ熟語として、正しいものはどれか。

よく話して納得させること

- (1) 交渉
- (2) 説得
- (3) 対話
- (4) 会合
- (5) 団欒

【No. 5】 次の文の下線部と同じ品詞の意味として、正しいものはどれか。

季節が変わりめっきり寒くなった。

- (1) 来週ぜひお立ち寄りください。
- (2) あの人はなぜ人の話を聞かないのか。
- (3) 次回はたぶんうまくいくだらう。
- (4) 焦らずもっとゆっくり進もう。
- (5) あなたはけっして悪くない。

【No. 6】 次の文の下線部が尊敬語であるものとして、正しいものはどれか。

- (1) 父が午後うかがいます。
- (2) ここにその商品があります。
- (3) 教授が今後の事をおっしゃっていました。
- (4) この作業は私がいたします。
- (5) 金曜日から休みます。

【No. 7】 次の意味を持つ品詞として、正しいものはどれか。

自立語で活用がない。主に用言を修飾する。

- (1) 形容詞
- (2) 動詞
- (3) 名詞
- (4) 副詞
- (5) 形容動詞

【No. 8】 下線部に当たる漢字として、正しいものはどれか。

- (1) 内容をケントウする。 : 見当
- (2) 法律がシコウされる。 : 試行
- (3) 部屋をカンキする。 : 喚起
- (4) イガイな反応に驚く。 : 以外
- (5) 化学のキョウイ的発見。 : 驚異

【No. 9】 次の文の下線部に用いられている漢字と同じ漢字を用いるものとして、正しいものはどれか。

衝突を避けるために設けられたカンショウ地帯

- (1) 草花をカンショウして楽しむ。
- (2) 荷物が壊れないようにカンショウ材を入れる。
- (3) 私の趣味は音楽カンショウです。
- (4) 他人の私生活にはカンショウしない。
- (5) 今日の試合は大差でカンショウだった。

【No. 10】 文中の漢字がすべて正しいものはどれか。

- (1) 営業成績の不振が続く。
- (2) 発想が陳腐だと比判される。
- (3) 大学を誘致することで町の活性化を計る。
- (4) 互角の勝負を繰り拵げる。
- (5) 与えられた約割を遂行する。



【No. 11】 文中の下線部の熟語の読み方として、正しいものはどれか。

- (1) 含蓄のある本。 : うんちく
- (2) 願い事が成就する。 : せいじゆく
- (3) 善後策を考える。 : ぜんご
- (4) 平衡感覚を養う。 : へいきん
- (5) 見事な旋律を奏でる。 : しりつ

【No. 12】 次の(ア)～(オ)の漢字の読み方として、正しいものだけを挙げているのはどれか。

- (ア) 一瞥 : いちべつ
- (イ) 迂回 : せんかい
- (ウ) 婉曲 : わんきよく
- (エ) 出納 : しゅつのう
- (オ) 伴侶 : はんりよ

- (1) (ア)(イ)
- (2) (ア)(ウ)
- (3) (ア)(オ)
- (4) (ウ)(エ)
- (5) (エ)(オ)

【No. 13】 作家と作品の組合せとして、誤っているものはどれか。

- (1) 志賀直哉 ——— 『暗夜行路』『城の崎にて』
- (2) 川端康成 ——— 『雪国』『伊豆の踊子』
- (3) 井伏鱒二 ——— 『山椒魚』『黒い雨』
- (4) 永井荷風 ——— 『腕くらべ』『すみだ川』
- (5) 島崎藤村 ——— 『濃東綺譚』『おかめ笹』

【No. 14】 ことわざ・慣用句とその意味の組合せとして、正しいものはどれか。

- (1) 爪に火をともし ————— たいしたことはないと見くびること。
- (2) 頭隠して尻隠さず ————— 欠点の一部を隠しただけで全体を隠していないこと。
- (3) 後ろ髪を引かれる ————— 深く心に留めて忘れないようにすること。
- (4) 嘘も方便 ————— 嘘のつもりで言ったことが意外な結果になること。
- (5) 鶴の一声 ————— ひいきして力添えをすること。

【No. 15】 次の四字熟語の意味として、正しいものはどれか。

意味深長

- (1) 言葉の底に深い意味の含まれていること
- (2) 事情が複雑で、いろいろ変化のあること。
- (3) 新しい方法を思い巡らして考え出すこと。
- (4) 物思いに沈み、静かに考えること。
- (5) ぐずぐずして思い切りの悪いこと。